

高西地区 から こんにちは 今月の 気になる人

四万十支所管内より

大きな農機はロマン!

まつおか りゅういち 松岡 龍一さん (28)



就農して3年目の松岡さんは、水稻、雨よけピーマン、サトイモを栽培しています。今後は水稻に力を入れ、規模拡大して栽培面積を5~6ヘクタールにすることを目標に熱意をもって取り組んでいます。機械が好きで、特に大きな農機や形にはこだわりがあるそうです。

大野見支所管内より

イベントでお待ちしてます

(左) しもむら ともひろ 下村 具裕さん (45)

(右) ゆかこ 由佳子さん (40)



高知市出身の下村さんは、8年前に大野見下ル川に移住し、ブルーベリーと生姜のオーガニック栽培に取り組んでいます。奥様の由佳さんと試行錯誤をしながら、ジンジャーシロップやジャム等の加工品の製造と販売を行う6次産業化に取り組んでいます。「のらしごと舎」というグループでイベント活躍などをしており、9月のシルバーウィーク(9/14,15,16)には音楽とキャンプを兼ねた、「リバーサイドホリデー」というイベントを大野見で行う予定です!

東津野支所

野菜作ってみんかよ?

たに みやこ 谷 宮子さん (82)



津野町船戸でシトウ2アールなどを栽培している谷さん。野菜を栽培することが大好きで、過去には米ナスや土佐甘とう等、様々な野菜を栽培してきました。現在は雨よけハウスでシトウや一般野菜を作り、出荷しています。農業に対する想いを伺うと「私にとって野菜作りは趣味やきね、いろんな野菜を作りたいがよ」と話してくれました。

梶原支所管内より

二人三脚

(左) うじはら かずみ 氏原 和美さん (78)

(右) かるさん (71)



梶原町下西の川の、山の上のハウスで二人仲良く農業を営む氏原和美さんご夫婦。ミョウガ10アールを主作目とし、冬場の換金作物としてユズ25アール、葉ワサビ5アールを複合経営で栽培しています。「農業は、JAや共選員さん、弟夫婦、子供たちの協力があってできること! 仕事あってこそ健康!!」と元気に取材を受けていただきました。

興津支所管内より

しっかり働いて、趣味を楽しむ

なかしま こうたろう 中嶋 孝太郎さん (55)



買い物に来ていただいたところをパチリ! 興津で施設ミョウガ栽培に取り組む中嶋さんは、実はゴルフの腕前はかなりのもの。ご本人は「何事も可もなく、不可もなく、当たり障りのない」がモットーとのことですが、実際は、農業も趣味も非常に熱心に取り組んでおられます。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



傾斜地の草刈りも楽々です

1 四万十地域 負担を軽減 活用しようスマート農機

6月11日、四万十町の営農支援センター四万十で、自動運転農機等を活用したスマート農業について実演見学会が行われ、町内の農業関係者約70名が参加しました。

スマート農業とは、ロボット・AI等の先端技術を農業に活用し、データの収集・解析のほか作業の効率化や省力化を図るもので、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が主体となっています。

実演会では衛星利用測位システム（GPS）付き田植え機や、ラジコン草刈り機などスマート農機の実演や参加者による試運転が行われました。安全な場所から作業が出来ることから、体験者からは「斜面の草刈りなど、高齢者の負担が減りそう」と意見が上がっていました。同センターの川村陽三代代表取締役は「農家の負担を減らし、経営の合理化や規模の拡大につながるようスマート農機の普及を目指していきたい」と話しました。



旬の野菜のPRができました

2 津野山地域 くらそう梶原で！ 東京でPR

津野山営農経済センターは6月15日～16日にかけて、東京都東原町の東京交通会館で梶原町主催の「2019くらそう梶原フェア」に参加しました。生産農家、集落活動センターや商工会、森林組合など関係者ら20人と共に町のPRに努めました。

JAは収穫したばかりの野菜を販売し、産地直送で安価な野菜を求めて多くの来客でにぎわいました。旬の米ナスや土佐甘とうなどをレシピと共に説明すると飛ぶように売れていました。

「東京でも見たことがある野菜だが、こんないい環境で栽培されているとは知らなかった。早速頂いたレシピで料理してみたいです」と、好評な意見をいただきました。

梶原町では素晴らしい自然の魅力を武器に、今後も農業を主体とした町のPR活動を展開していきます。同フェアでは「ターナー」や「Uターナー」の相談コーナーを設置するなど、人の受け入れ体制にも力を入れています。

3 四万十地域

年に一度の交流運動会



意外と難しい！パン食い競争

高西地区女性部は6月12日、幡多地区の「女神の運動会」に参加しました。200人が4チームに分かれ、風船割りリレーやパン食い競争など15の種目を楽しみました。

両地区は、平成28年に姉妹JA協定を締結して以来、合同の運動会を通して親睦を深めています。JA統合も踏まえ、今年はチームを超えて交流できるよう新種目も追加され、会場は大いに盛り上がりました。

4 津野山地域

土佐甘とう出荷本番へ！



実際の出荷物を用いて品質・規格を確認します。

津野山土佐甘とう部会は18日、甘とう出荷目慣らし会を開き、出荷規格や品質等級を確認しました。甘とうは長さや曲がり具合が主な選別基準となります。生産者らは出荷物を確認しながら規格の周知を行いました。

津野山甘とう部会の岡田毅部会長は「規格や品質等級の基準に沿って、生産者から消費者まで満足できる土佐甘とうの出荷を展開したい」と話しました。今後は昨年を上回る収量を目指して部会活動に取り組んでいきます。

5 四万十地域

ニラ部会『通常総会』を開催



情報共有し栽培技術の向上に役立てます

JA高知県四万十二ニラ部会は6月13日、平成30年度通常総会を主要取引市場4社を迎えて開催しました。直近の3カ年は、部会目標である1500t出荷を続けて達成しており、令和元年度も営農アドバイザーによる基本技術の向上や新技術の更なる普及拡大、出荷調整作業の効率化へ積極的に取り組む事により、さらに出荷量・品質の安定を図っていく事を確認し意識の高揚が図られました。

6 津野山地域

夏秋作物の出荷本格化



搬入された米ナス箱を丁寧に梱包します

津野山管内では、これから秋にかけて最も出荷が多くなるシーズンに差し掛かかります。夏秋作物として米ナスや小ナス、甘とう、シシトウ、ミョウガなどが出荷本番を迎え、出荷場にも活気が出てきました。

各品目の生産現場では、暑さに負けず日々収穫や病害虫防除等の作業に取り組んでいます。今年は遅い梅雨入りで今後の天気も注意が必要ですが、台風や荒天などに負けず、今後も順調に出荷が続けられることを願います。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

四万十地域より

四万十夏秋 ピーマンについて

高西地区では、夏秋ピーマンの出荷がピークをむかえてきました。「四万十夏秋ピーマン部会」は窪川地域を中心として43名の部会員、作付面積329a(雨よけ194・35a、露地154・8a)で5月12月にかけて、県内はもちろん、京浜地区、中京地区、京阪神地区など全国各地へ出荷をおこなっています。また、H30年度の反当収量で雨よけ栽培平均10・37t(最高15・5t)、露地栽培平均5・06t(最高9・69t)と栽培技術が非常に高く、近年の高単価もあり、平成30年度には販売金額1.4億円を突破するなど、年々販売金額を伸ばしている部会です。



栽培についてのご質問・ご相談は下記まで
四万十営農経済センター 営農指導課
0880-22-5179

苦みが少なく、果色は濃緑でそろいが良く、秀品率が高いのが特徴です。夏期においても品質の低下が少なく、甘味があり、市場からは高い評価を受けています。新規部会員の加入も多く、栽培技術に不安のある方もありますが、部会には営農アドバイザー(篤農家)もあり、実践を通じた的確な指導を受けることができ、栽培技術の高位平準化を行う体制が整っております。

津野山地域より

自然豊かな津野山地域で 土佐甘とうを栽培しませんか

地域の特徴

津野山地域は、高知県の梶原町と旧東津野村(現在の津野町の西半分)をあわせた地域で、四万十川源流の澄んだ水と、四国カルストの麓・豊かな自然環境のもと、園芸作物では主に米ナス、小ナス、シシトウ、土佐甘とう、ミョウガなどを栽培しています。今回露地での栽培が可能な土佐甘とう栽培についてご紹介します。興味のある方は気軽に相談ください。



生産者のみなさん
土佐甘とう生産者数:26名(H31)
土佐甘とうは雨除け、露地栽培の両方を行っています。

就農時の営農イメージ

土佐甘とう5a(目標所得100万円)

作目	収量	①売上	②経費	①-②所得	10a当たり収量
土佐甘とう(5a)	3t	200万円	100万円	100万円	6t

(栽培例)

作目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土佐甘とう	定植	誘引作業	防除	栽培管理作業(誘引・切り返し・追肥等)	収穫	荷造り作業			栽培終了片付け			圃場準備

※この経営収支は津野山地域のモデルとして示したものであり、この収量や所得を保証するものではありません。



雨よけ栽培の様子



露地栽培では初期、寒さ対策のためトンネル栽培を行います

一問い合わせ先ー 津野山営農経済センター 営農指導課
高知県高岡郡津野町北川2281-4 TEL (0889) 62-2335 FAX (0889) 62-2381

タッチダウンIQ(除草剤)の キャンペーンについて

只今、JA高知県のお客様限定で「タッチダウンIQ 日頃のご愛顧キャンペーン」を開催中です。

5Lに500mlボトル1本
20Lに500mlボトル4本
がついてくる!



一年生雑草やスギナ、ササ等の難防除雑草でお困りの方へ。

- ・雑草の根までしっかり枯らします!
- ・2種類の展着剤で枯らす効果が安定!
- ・枯れ始めが早く、長く効きます!

期間は9月30日まで!

キャンペーン期間中にタッチダウンIQの大型ボトル(5L/20L/200L)をご予約又はご購入の方にサンプルと帽子をプレゼント!(帽子は数に限りがあります。お早めに!)

【お得なWチャンス!!】

購入者に抽選で宿泊券又はカタログギフトプレゼント! 詳しくは店頭で!

お買い求めは、四万十営農経済センター、津野山営農経済センターほかJA高知県の各資材店舗まで



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

今年竹空に真つ直ぐ穂をあげて
しばらくは農の手休め時鳥

武政礼子

道添ひの小川に散りて竹の秋
藤咲きて良人はやくも十回忌

市川和美

せらぎや高鳴り初むる梅雨嵐
旭出て野火走るかに夏の霽

今橋孝子

睡蓮の祈るが如く閉ちてをり
水打って己鎮めて居りにけり

玉川治美

腰痛に顔を顰めて梅雨の入り
はるばると留守せし家の草を刈る

竹内春猪

蜘蛛の囀や水滴光る雨後の朝
神仏に快癒念じる梅雨の朝

西宮正衛

山梔子の今開かんと振り解く
振り向けば庭に真白き夏椿

西森美好

寂寥の螢火ひとつ通夜の庭
香を供ふ友の手摘みの新茶とて

長谷部延子

立ちのぼるさ霧の中の茶摘うた
咲きそめも散りそめも良しばらの花

渡辺小梅

短歌

窪川短歌教室

これの世にめぐりあひたる友人のひとりが手術耐へる時分

黒岩 やよえ

平成が昨日となりて今日からは令和 平和がつづけと願う

中内 佐登美

終戦後の八人家族今はひとり貧しさまでもなつかしきかな

岩井 房子

雨上がりの四万十の瀬音聞きながら新緑の中に友らと憩う

島岡 紀美

朝光のライトイエロー夕光のジャスマインイエロー カーテンを透く

文野 美恵子

入野の浜の五月の潮にひるがえるTシャツアート展の思いのかたち

市川 隆子

慰霊祭に集いし遺児ら戦時中の母の荷重さを語るにあかず

岡村 香代子

「悲しみは水に流せよ受けた思は石に刻めよ」石、水無尽

市川 浩子

事故に遭い「痛い、痛い」が最後とは切なく悲しい義兄とのわかれ

北村 さちこ

【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

◆◆おたよりから◆◆

とさのさと行ってよかったです。農産物の他に花木が一杯で安価でびっくりしました。これでバイキングの農家レストランがあれは最高です。これから楽しみです。

(四万十町・62歳・女性)

わが家の小さな庭に紫陽花が咲きました。木が大きくなるので何回も切っていたら、あまり大きくならなくなり、花も小さくてかわいいです。

(梶原町・62歳・女性)

短歌

子を頼り町に出て行く高齢の見守るような庭の紫陽花

(津野町・村田三喜子)